



⑦ 官版立會略則

明治4（1871）年9月

この立會略則（りゅうかいりやくそく）は、通商会社ならびに為替会社について解説した小冊子です。著者は、当時大蔵大丞だった渋沢栄一で、明治4（1871）年9月大蔵省から刊行されました。「立会」とは立会結社のことで、同時期に大蔵省が刊行した『会社弁』を補足して通商会社設立の方法、為替業務、貸付金・預かり金、公債証書の発行などについて略説しています。なお原本は半紙判三十四丁の和装本です。

前橋市・勝山敏子家文書 P8702 No. 3368

